

郷中だより



令和3年12月24日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第25号

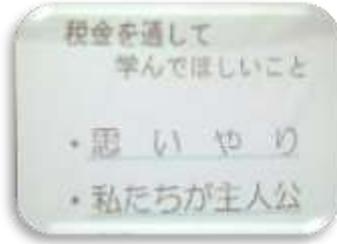
とても珍しい雲に、朝からずっと空を見上げていました。時間とともに太陽に照らされる場所や光り加減が変化していく様子が神秘的でした。廊下で「きっといいことがあるね!」という声も聞こえてきました。2021年もいろいろなことがあったけど、みんなで力を合わせて乗り越えてきたら、こんなに素敵なプレゼントが! 幸せです。



租税教室

12月21日の午後、3年生を対象に租税教室を行いました。
山本税理士さんが、税金についてわかりやすく楽しくお話ししてくださいました。

3年生は税金がなければ公共サービスが受けられなくなることを知り、安全で豊かな暮らしのために税金が必要であることに気づいた様子でした。



美術部

今年も美術部の生徒たちが、「自分たちの地域愛をどのような形で伝えようか」と考えたところ、地域の高齢者施設に来年の干支にちなんで虎の切り絵を作り、届けることにしました。施設の高齢者の方やスタッフの方々にも喜んでいただけたようです。



環境委員会

美術部と同じころ、環境委員のメンバーも「地域に恩返しをしたい」という思いで、美術部と同じ高齢者施設に寄せ植えの鉢をプレゼントしました。かわいい花のひとつひとつに「いつまでもお元気でいてください」という思いを込めています。



郷内クリスマスコンサート

毎年、郷内公民館で行われている「郷内クリスマスコンサート」が、感染症対策のため中学校の体育館で行われました。会場には、たんぼぼ団や郷内地区栄養改善の展示物と一緒に、園児・児童・生徒の作品が並び、地域と学校園のつながりが強く感じられました。

開会行事では、恒例の「人権標語・人権ポスターの表彰式」が行われ、小中学生それぞれ5人の作品披露と表彰がありました。「ぼかぼか賞」の名のとおり、心が温かくなる作品ばかりでした。

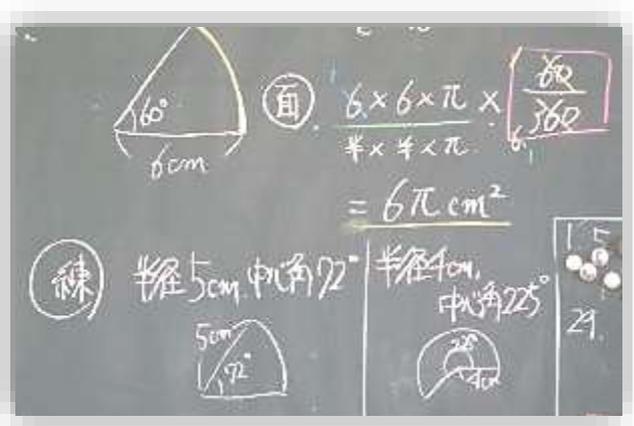
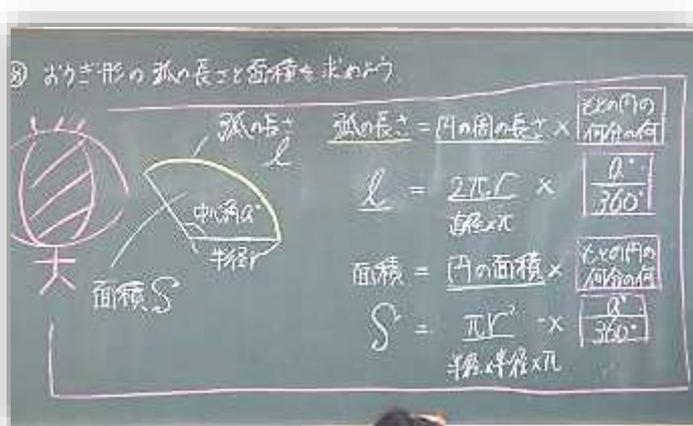
ステージのオープニングは、3年生の木村さんによるピアノ演奏でした。華麗な演奏に聞き入り、体育館にいることを忘れそうになりました。また、吹奏楽部が、ハンドベルやサンタクロースで盛り上げ、一足早くクリスマスを楽しみました。

(裏面に続く)



数学の授業で

廊下を歩いていると、1年生の数学の授業で「おうぎ形の弧の長さや面積を求める」授業をしていました。今年度の県の学力調査で、本校の正答率が県平均より低かったのが、おうぎ形の面積の問題でした。先生の説明や生徒の解き方を聞き、「私も中学校で習ったけど、使わないうちに忘れてたな。」と思っていた時に、「今はできるかもしれんけど、3年生くらいになると忘れるんよ。」という神田先生の言葉が耳に入ってきました。3年生の皆さんは、解き方を覚えていますか？



保護者の皆様へ

あっという間に12月の下旬になり、2学期の終業式を終えました。

今学期も感染症拡大防止のために、やむを得ず行事の期日や予定を変更して実施しましたが、生徒の心に中学生時代の楽しい思い出が残るように、教職員全員で安全を優先した行事の方法や期日等を考えてきました。体育会や友愛セールでは、PTA役員の方々に朝早くからご協力をいただき、たいへん心強く感じました。また、私たち教職員の思いに、保護者の皆様が気持ちを合わせてご協力くださいましたことに、心から感謝いたします。

さて、明日から冬休みになりますが、郷内地域は幹線道路に囲まれているため、年末年始はコロナ禍とはいえ、交通量も増えることと思います。くれぐれも交通ルールを守り、安全に過ごしてほしいと願っています。部活動は、顧問から連絡がありましたとおり、12月28日～1月3日までの閉庁期間は、活動を行いません。ご家庭で、体力づくりをお願いいたします。

なお、閉庁期間の平日の緊急連絡先は、夏休み同様に倉敷市教育委員会となっております。

年が明けましたら、いよいよ3年生にとっては、それぞれの進路に向けて新たな一歩を踏み出す準備期間になります。1年生、2年生も次の学年への心構えをする時期です。冬休みには、ゆっくりとご家族で過ごして英気を養い、心も体も元気でお会いできることを願っています。私たち教職員も保護者の皆様、地域と連携しながら、生徒一人ひとりの成長を応援していきます。今後ともよろしくお願いたします。どうぞよいお年をお迎えください。

